

○ 調査問題

(3) 岡田さんと山口さんに続いて、東京オリンピックの中高生ボランティアについて、あなたが田中さんに質問するとしたら、どのような質問をしたいと思いますか。【田中さんのポスター】や【発表場面の一部】の内容に触れながら、あとの条件1〜条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり、行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、中高生ボランティアについて、岡田さんと山口さんに続けて質問したいことを、実際に話すように書くこと。

条件3 二段落目には、その質問をした理由を【田中さんのポスター】や【発表場面の一部】の内容に触れて書くこと。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】
○ 場面に即した質問をする。

【問題の内容】
○ 質問したい内容を書き、その質問した内容に触れて二段落構成で書く。

○ 誤答分析

解答類型	①正答 内容○ 形式○	2 内容○ 形式× (二段落)	3 内容○ 形式× (その他)	4 内容× (表現) 形式○	5 内容× (理由) 形式○	その他	無解答
解答率	42.0%	5.1%	1.6%	0.2%	9.3%	20.2%	21.5%

○ 正答率は42.0%であるが、無解答率が21.5%となっている。また、内容・形式共に不十分な解答の分類となる「その他」が20.2%という結果になっており、書きかけで答案として成立していないものが多くみられた。時間内で答案を完成させる練習を積んでいくことが求められる。

○ 理由を書くという内容面の要件を満たしていない解答が全体の9.5%であった。複数の資料から自分の考えを形成する場面を設定し、自分の考えの根拠を明確にして書いたり、書いた文章を検討したりする活動の機会を設けていくことが求められる。

○ 指導上のポイント

伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちの根拠を明確にして書く指導

○ 複数の資料から必要な情報を得て、自分の考えをもつ活動を設定する。



資料に書かれていることを正確に理解した上で、資料相互の関連性を整理したり、それらの資料と自分の考えとのつながりを確認したりすることが、大切です。多様な情報を関連付けて読むことの指導に当たっては、新聞や広告、パンフレットやポスター等も有効な教材です。

学校図書館やインターネットなどを利用し、主体的に情報を探していく活動も取り入れてみましょう。

○ 自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章になっているかどうかを検討する活動を設定する。

〔例〕要望する文章を書こう

（参考：国立教育政策研究所「平成28年度全国学力・学習状況調査 授業アイデア例」）

ねらい 自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことができる。

- ① （生徒総会において担当する委員会等に）要望する文章を各自で書く。
- ② 書いた文章をグループで読み合い、自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章になっているかどうか検討する。
- ③ 必要に応じて、具体的にどのように修正すればよいかをグループで交流する。
- ④ 自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章を書き、意見をまとめて発表する。
- ⑤ 各自で文章を見直し、完成させる。

まずは、要望をはっきり述べるとよいのではないかな。

自分たちだけではなく、みんなのためになることを根拠に示すと、納得していただけたと思うよ。

生徒のアンケート結果を示すと、より要望の意図が分かりやすくなるのではないかな。



書いた文章を検討する際には、これまで学習した推敲の観点の視点を踏まえるように指導することが大切です。

事実を基に考察したことを伝える文章や他教科等の学習で書いた文章を用いて検討する学習活動も有効です。

【「授業スタンダード」の視点】：「ペアやグループでの話し合い」で広がり深まる思考

○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

〔図3〕風呂敷と他素材との比較

	素材	持ち運び	収納	衛生面	環境面
風呂敷	布	軽い	○折り畳み可	○洗いば何度でも使える	○
鞆	皮など	重い	×折り畳み不可	×洗うのは困難	×
紙袋	紙	軽い	△	×洗うのは困難	×
レジ袋	ナイロン	軽い	○折り畳み可	△	×

【出典】

「活用力育成シート」

R元 中学1年 第1回

四 松本さんの質問に対して山下さんは左の(図3)の資料を使って、「風呂敷」の魅力や他の袋等と比較した上で説明しようとしています。あなたが山下さんだったら、どのように説明しますか。次の条件にしたがって書きなさい。

〔条件〕

○スピーチや(図3)を基にして書くこと。

○六十文字以上八十文字以内で書くこと。

【スピーチ・質問の場面の一部】

これから、日本の伝統文化の一つ「風呂敷」について紹介します。

風呂敷の起源は奈良時代になります。当時は「つつみ」と呼ばれ、物を包み保管するために使われていました。庶民に広まったのは江戸時代の頃で、入浴時に衣類を包んで運び、風呂敷に敷いて身支度に使用したので、「ふるしき」と呼ぶようになったそうです。

風呂敷には、大小様々な大きさがあります。包むものの大きさや用途に合わせて使い分けられるのが、風呂敷の魅力の一つです。また、使い捨てにはならないので環境にもやさしいです。もう一つの魅力は、日本人の文化の象徴ともいえることです。皆さんは「包」という漢字には、どんな意味があると思いますか？実は母親のおなかの中に赤ちゃんがいることを意味しています。そこから、「大切である」「相手を敬う」といったことを表すそうです。風呂敷は品物だけでなく、相手を大切に思う心も一緒に包まれていることを表すものなのかもしれません。1300年の歴史の中で人々の暮らしを助け、そして生活を豊かにする道具だった風呂敷は、その役割を見直されつつある日本文化の一つだともいえます。

風呂敷の魅力をもっと知りたいです。具体的に鞆や紙袋、レジ袋等どのように違うのか具体的に教えてください。



風呂敷で包むことが相手を大切にすることを表し、そのことが生活を豊かにするものだとして山下さんは考えるのですね。

松本さん 大野さん 山下さん